

# 平成 25 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 土平 博

最終学歴	関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程地理学専攻単位修得満期退学	
取得学位	修士(文学)	
所属学会	日本地理学会 人文地理学会 歴史地理学会 奈良地理学会	
専門分野	歴史地理学	
研究課題	近世の陣屋と陣屋町に関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理学実習(三)(通年)</li> <li>・地理学講読・調査法(九)(通年)</li> <li>・地理学演習(九)(通年) 世界遺産地理学演習(二)(通年)</li> <li>・地理学卒業演習(九)(通年)</li> <li>・歴史地理学(前期)</li> <li>・地理学特殊講義(八)(後期) ・奈良文化論Ⅱ(前期)一部</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目(博士前期課程含)	担当なし
	大学院博士後期課程担当科目	担当なし
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史地理学 スクーリング年3回</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
【研究上の特記事項】	<p>①平成22年度から4年計画である日本学術振興会平成24年度科学研究費(基盤研究(B)分担者)を受けて、蝦夷地および東北地方の陣屋に関する現地調査を実施した。この研究プロジェクトは本年度で終了した。②平成23年度から4年計画である日本学術振興会平成24年度科学研究費(基盤研究(B)分担者)を受けて、東北地方および近畿地方の地籍図に関する史料調査および現地調査を実施した。③平成25年度から科学研究費(基盤研究(c)研究代表者)を受けて、近世陣屋に関する研究をはじめた。主として研究対象地域を東北地方として史料調査および現地調査を実施した。④平成25年度から科学研究費(基盤研究(A)分担者)を受けて、城下絵図の収集を実施した。</p>	
【教育上の特記事項】	<p>①「奈良文化論Ⅱ」の企画運営(本学名誉教授浅田隆、国文学科教授滝川幸司、史学科教授寺崎保広、文化財学科教授植野浩三、社会調査学科教授芹澤知宏・准教授尾上正人と共同)に関わった。②第7回全国高校生歴史フォーラム(石原学長ほかで運営)の企画と運営に関わった。</p>	
【社会的活動】	<p>自治体等主催の市民講座(奈良市登美ヶ丘公民館年4回、同市富雄公民館1回、天理市山の文化会議講座2回)、北海道白老町しらおい歴史講座(1回)</p>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<p>①&lt;学内委員&gt;文学部入試委員・文学部学生相談委員・文学部学生相談運営委員・文学部広報委員 文化会クラブ「地理学研究会」顧問 ②</p>	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ①地籍図(人文地理学会編『人文地理学事典』) ② ③ ④ ⑤	共著	2013年9月	丸善	人文地理学会編『人文地理学事典』の一部を執筆担当(158-159頁)。
(学術論文) ①蝦夷地陣屋の形態と構造－盛岡藩と仙台藩を事例に－ ②地租改正地引絵図からみた添下郡池之内村の地割 ③ ④	単 単	2014年3月 2014年3月	北海道地理学会、地理学論集89-1 奈良大学、奈良大学紀要42	幕末蝦夷地に構築された盛岡藩と仙台藩の陣屋について、そのプランの相違を解明しようと試みた。 近世以前に存在した溜池の形状を明治期の地租改正地引絵図に描かれた地割の判読から理解できることを説明した。
(学会発表) ①蝦夷地陣屋の構築物と近世陣屋の形態変容－陸奥国・羽羽国の陣屋と比較して－ ② ③	単	2013年6月	北海道地理学会	シンポジウムでの報告。
(その他) ①蝦夷地陣屋の形態と構造－盛岡藩と仙台藩を事例に－ ② ③	単	2014年1月	研究代表者戸祭由美夫『文化遺産としての幕末蝦夷地陣屋・囲郭の景観復元－GIS・3次元画像ソフトの活用』(平成22～25年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書(その2))	幕末蝦夷地に構築された盛岡藩と仙台藩の陣屋について、そのプランの相違を解明しようと試みた。なお、北海道地理学会「地理学論集」に掲載できなかった絵図を収録している。